



自然災害情報ネットワークステーション (NDINS) オープニングセレモニーを開催

概要

災害が発生した際に、国土交通省九州地方整備局が撮影した映像を九州大学に同時配信するシステム「自然災害情報ネットワークステーション (NDINS)」を平成24年1月より運用します。これを記念して、平成24年1月24日(火) 9時30分より、伊都キャンパスにて、オープニングセレモニーを開催します。

■内容

九州大学 自然災害情報ネットワークステーション (NDINS) オープニングセレモニー

日 時：平成24年1月24日(火) 9:30～10:00

会 場：九大伊都キャンパス 西部地区自然災害資料センター (ウエスト2号館430号室)

プログラム

開会挨拶	今泉 勝己	防災環境ネットワーク部会長、九州大学理事・副学長
祝 辞	落合 英俊	九州大学理事・副学長 (テレビ会議にて)
祝 辞	中嶋 章雅	国土交通省九州地方整備局長 (テレビ会議にて)
祝 辞	熊谷 恒一郎	九州建設弘済会理事長
閉会挨拶	日野 伸一	工学研究院長
(司 会)	善 功企	西部地区自然災害資料センター長)

なお、セレモニー終了後、引き続き10時より、下記の報告会が九州地方整備局で予定されており、本学からも当システムを活用して報告会に参加予定です。

九大と九州地方整備局のタイ洪水対応関係の合同報告会

内 容：11月にタイで発生した洪水を受けて、九州地方整備局よりタイに洪水対策の専門家が派遣され12月末に帰国しました。1月24日午前10時より、九州地方整備局にて、合同のタイ洪水に関する帰国報告会を開催します。

日 時：平成24年1月24日(火) 10:00～11:30

会 場：九州地方整備局8階防災対策室

報告者：塚原健一 工学研究院教授、中原水災害予報企画官・小田建設専門官の3名

【お問い合わせ】

自然災害資料センター事務局 折居

電話：092-802-2546

FAX：092-802-2545

Mail：ndicwj-a@civil.kyuhu-u.ac.jp

伊都キャンパス 〒819-0395 福岡市西区大字元岡744番地



- ← 入口
- II 食堂等
- P 駐車場
- A ATM
- 売 売店
- 書店
- IN 車輛入口
- OUT 車輛出口
- バス停

ウェストゾーン

- 1 陸上競技場
- 2 弓道場
- 3 課外活動施設 II
- 4 加速器・ビーム応用化学センター
- 5 船舶海洋性能工学実験棟
- 6 先進航空宇宙工学実験棟
- 7 衛星通信実験棟
- 8 アグリ・バイオ研究施設
- 9 先端プロジェクト実験棟
- 10 次世代エネルギー実証施設
- 11 テニスコート(クレー)
- 12 生物多様性保全ゾーン
- 13 あかだみつくらんたん
- 14 工学系実験施設群
- 15 鉄鋼リサーチセンター

- 16 水素ステーション
- 17 水素エネルギー国際研究センター
- 18 水素材料先端科学研究センター
- 19 伊都地区ウェストゾーン健康相談室
- 20 ウェスト4号館
- 21 ウェスト3号館
- 22 ウェスト2号館
- 23 外国人留学生・研究者サポートセンター
- 24 ビッグどら(食堂・喫茶・売店・書店)
- 25 西講義棟
- 26 石のアートQIAO(チャオ)
- 27 総合学習プラザ
- 28 数理学研究教育棟
- 29 伊都図書館

- 30 低温センター(伊都地区センター)
- 31 超伝導システム科学研究センター
- 32 循環型社会システム工学研究センター
- 33 東アジア環境研究機構
- 34 超高压電子顕微鏡棟
- 35 先端物質化学研究所
- 36 稲盛財団記念館
(稲盛フロンティア研究センター、
カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)
- 37 エネルギーセンター
- 38 学生支援施設
- 39 エコセンター
- 40 最先端有機光エレクトロニクス研究センター

センターゾーン

- 41 外国人留学生・研究者サポートセンター
- 42 給水センター
- 43 比較社会文化・言語文化研究教育棟
- 44 比較社会文化学府等事務棟
- 45 伊都地区センターゾーン健康相談室
- 46 ビッグさんど(食堂・売店)
- 47 ビッグオレンジ(情報発信拠点)
- 48 守衛所
- 49 センター1号館
- 50 センター2号館
- 51 喫喫(おうめい)天空広場 Q-Commons
- 52 テニスコート(オムニ)
- 53 課外活動施設 I
- 54 総合体育館
- 55 多目的グラウンド

- 56 ドミトリー1(学生宿舎)
- 57 ドミトリー2(学生宿舎)

自然災害情報ネットワークステーションについて

九州大学西部地区自然災害資料センター長
善 功企
(九州大学大学院 教授)

1. 趣旨

九州の自然災害における情報ネットワークを構築することを目的として、九州地区の国立大学の防災機関、国土交通省九州地方整備局およびリアルタイム防災に備えたモニタリング現場などを情報通信ネットワークで結ぶためのネットワークステーションを確立し当センター内に整備します。

2. 概要

(1) 大学間ネットワーク

九州地区の国立大学の間では、既に「防災環境ネットワーク部会」(国立大学協会九州地区支部)を設け、大学における防災関係研究者のネットワークを構築している。これに、今回のハード面を整備することで、ソフト、ハード両面でネットワークが整備されます。

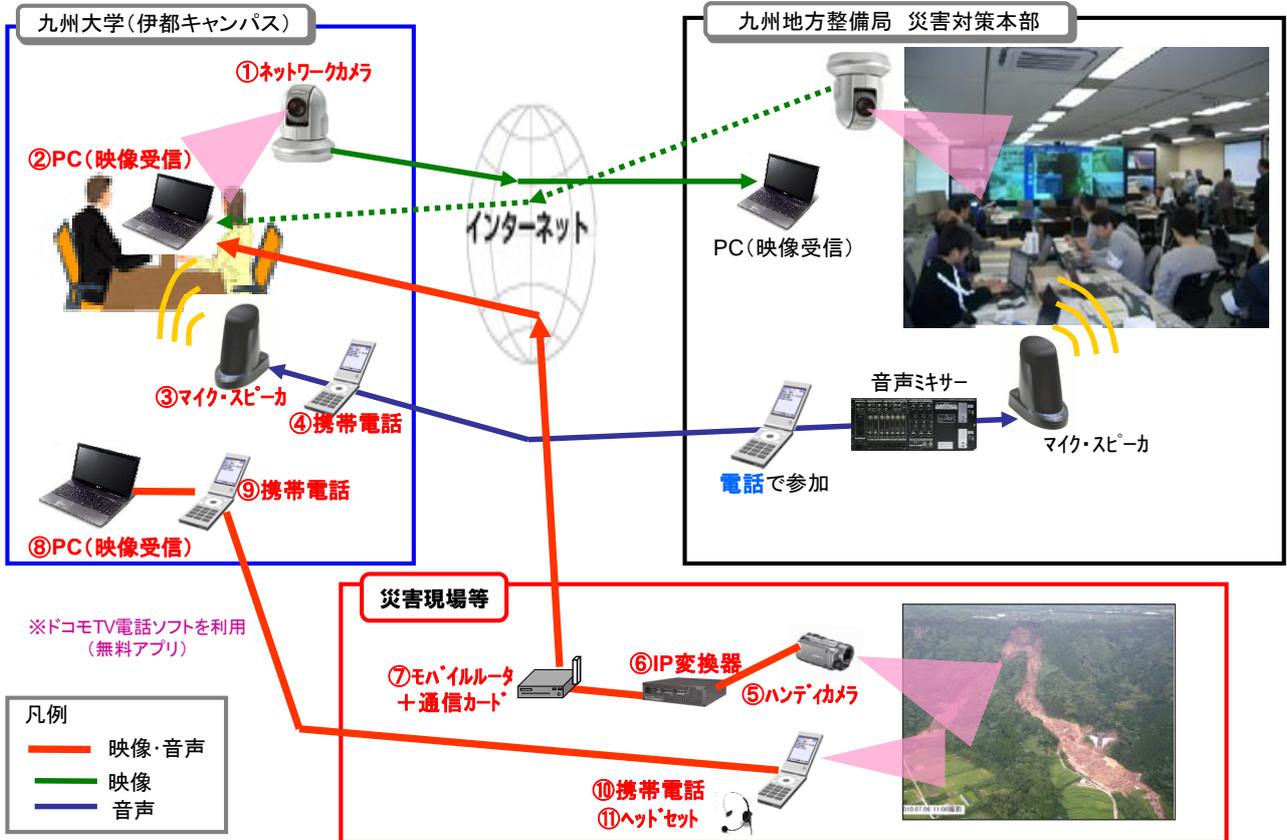
(2) 行政とのネットワーク

九州大学と国土交通省九州地方整備局が 2010 年 11 月に締結した包括協定にもとづき、防災情報の共有等に関する実施協定が結ばれました。これにより、災害時の国土交通省九州地方整備局の情報を受け取ることが可能となりましたが、ネットワークを常設することで、突発災害における緊急情報もリアルタイムでやりとりが可能となります。また、他大学との情報の共有もできます。

(3) 現地情報のリアルタイム収集

災害が予想される現場でのモニタリングデータをネットワークを介して収集することによって、リアルタイム防災に活用できます。

自然災害資料センター設備(案)



3. 狙い

災害発生時に国土交通省九州地方整備局が撮影した被災地の動画を九州大学に同時配信することで、防災の専門家が現地の状況を即座に把握し、国や自治体に助言できます。地方整備局と大学がこうしたシステムを導入するのは全国初の試みです。

これにより、防災に取り組んでいる九州大学内の研究者の成果を活用し、社会貢献に繋がります。

4. 展望

将来は、九州大学から九州の各国立大学に動画を転送する態勢を整え、さらには無線・光ファイバー等を駆使した災害情報ネットワークの構築を目指します。